

特集

10周年記念  
図書館まつり

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.55  
編集＝山形村図書館

去る10月24日(日)にトレーニングセンターで10周年記念図書館まつりが開催されました。来場者は300人を超え大盛況でした。今号はまつり大特集です。

山口マオさん講演会  
&ワークショップ

絵本作家山口マオさんが「絵本づくりの舞台裏」にわにわにの絵本ができるまで」と題して講演されました。村内外から1000人の参加がありました。人気シリーズの「わにわに」が絵本になるまでのエピソード、とりわけ文章を書いた小風さちさんや編集者とのやりとりが愉快でした。



なかなかのぞけない創作の「舞台裏」は魅力的です。マオさんの口琵琶による読み聞かせも得難い体験でした。

ワークショップは体育館で、村内の5歳～小学生17人がマオさんと一緒に「巨大わにわに」を描きました。ふすま大の紙にマオさんがフリーハンドで「わにわに」を描くと、「スゲー!!」と歓声が。その周り



に子どもたちが思い思いの絵を描き、スポンジで色付けしました。仕上げにマオさんがワニの輪郭を描き、ド迫力の「わにわに」が完成しました。

120人のおすすめ本四面書架

めばえの部屋の壁4面を、顔写真入りの本の紹介文で埋め尽くしました。7月から利用者のみなさんに声をかけ、おすすめの本を紹介していただきました。ここにこの笑顔で写真に収まる子どもたち、恥ずかしいから…と本で半分顔を隠す紹介者も。それぞれに想いのこもった紹介120人分は圧巻でした。



顔の見える紹介文は、親しみが増すようです。200人を超える来場者でした。ご協力いただいたみなさんありがとうございます。四面書架は図書館前廊下に年内は掲示していきますのでご覧ください。

『山形村図書館の歴史』展

館内では図書館の歴史をパネル展示しました。山形村図書館の歴史は、明治44年小坂に図書縦覧所が設けられたのに端を発します。条例で『山形村図書館』が設置されて10年ですが、それ以前の歴史の

方が膨大です。資料となるものがほとんど残されておらず、村誌と公民館報を駆使して調べました。10周年という区切りの年に、冊子の形にまとめることができ、後世の図書館へ手渡せることをうれしく思います。

おはなしのステージ・ワークショップ  
リサイクル本も人気

体育館のステージではクレヨンママ、おはなしの会、てぶくろの皆さんが子どもたちを楽しませてくれました。ブックカバー作り・ポチ袋作りにも100人以上の参加がありました。



最後にドドンと打ち上げ

花火の形のピースに図書館への願いを描いて貼ってもらいました。一番多かったのは「もっとたくさん本を入れてほしい」でした。

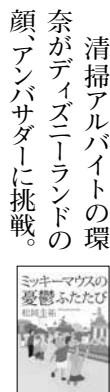
10周年の図書館まつりはおかげさまで大成功でした。引き続き図書館を応援してくださいね。ありがとうございました。

BOOK(55)新着本

おすすめ新着本紹介

『ミッキーマウスの憂鬱ふたたび』

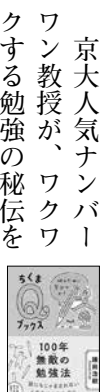
松岡圭祐(新潮社)



清掃アルバイトの環奈がディズニールランドの顔、アンバサダーに挑戦。前作で東京ディズニールランドの知られざるバックステージをのぞき見できたのが面白かったので、続編に期待です。

『100年無敵の勉強法』

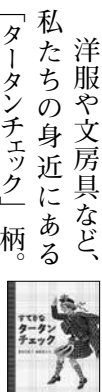
鎌田浩毅(筑摩書房)



京大人気ナンバールン教授が、ワクワクする勉強の秘伝を公開します。中高生向きの新シリーズ「ちくまQブックス」の1冊。手に取りやすい作りです。

『すてきなタータンチェック』

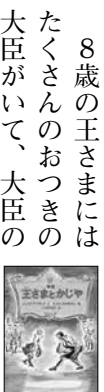
奥田実紀(福音館)



洋服や文房具など、私たちの身近にある「タータンチェック」柄。そのドラマチックな歴史、ファッション、定義など、タータンチェックの秘密を解き明かします。

『王さまとかじや』

ジェイコブ・ブランク(徳間書店)



8歳の王さまにはたくさんのおつきの大臣がいて、大臣の決めたことしかできません。きゆうくつな生活から王さまを救ったかじやのゆかいなお話です。